

試行実施項目の検証について【集計結果】

資料1

スケジュールガイドラインの区分	設問	自由民主党千葉市議会議員団	立憲民主・無所属千葉市議会議員団	公明党千葉市議会議員団
年間調査テーマ設定	全ての常任委員会で年間調査テーマを必置することについて	・テーマの設定にあたっては、市政の課題を踏まえ、議員間で議論する時間を確保していく必要がある。	・テーマ設定については、必要性がある。 ・テーマを決定するにあたり、執行部への政策提言や報告が1年で出来るようにする必要がある。	・第2次千葉市議会運営活性化推進協議会で、議論を重ね実施されてきたことは一定の評価ができるものであり、委員会から、市長部局に対して、必要に応じて提言等を行うことも可能であることから、今後も協議を重ね委員会がさらに充実することを望みます。
	本会議において、常任委員長が所信表明を行い、年間調査テーマの報告と取組姿勢や方針を述べることについて	・所信表明の内容についても、議員間で話し合う必要がある。	・必要性はある。 ・委員長のみならず委員の意見等を十分に汲み取り、委員会全体としての総意で進められるよう、所信表明に反映させていく工夫が必要である。	・市長部局に対し、市民意見を集約する議員の立場から政策形成機能の強化を図る上で、委員会として課題を提起し、表明することは意義あるものと考えます。 ・委員会としての結論を報告することは、市長部局に対して政策の充実を求めることに繋がり、また、市民から委員会の取組みに関心を寄せてもらうことや、評価を得る意味でも大切と考えます。
活動計画作成	年間活動計画を作成しての調査活動を実施することについて	・しっかりとした計画を立てて調査活動をし、中間報告などを実施して活動の進捗状況を議員間で確認することも必要。	・計画は必要だが、必要な調査については、柔軟に対応するなど、適宜対応できる体制にすべきである。	・スケジュールガイドラインは、委員が年間活動を知る上での目安となるので作成することは有効であると考えます。
その他、試行実施項目に関する意見等		-	-	・第2回定例会での委員の選任とテーマの選定、定例会最終日の所信表明まで時間的な制約があることから、過去の取組みも含めて状況がその都度、振り返ることができるように、SideBooksで確認できると良いと思います。 ・また、テーマ選定について、もう少し議論できる場があると良いかと思います。

スケジュールガイドラインの区分	設問	日本共産党千葉市議会議員団	日本維新の会・無所属の会
年間調査テーマ設定	全ての常任委員会で年間調査テーマを必置することについて	・年間調査テーマを必置していくことは賛成。 ・さらに今後政策提案を強化するために、条例発議や執行部への政策要望活動を展開していくことが必要と考える。	・当然のことながら、調査テーマを設定し、そのテーマに沿って活動することは必須と考える。
	本会議において、常任委員長が所信表明を行い、年間調査テーマの報告と取組姿勢や方針を述べることについて	・報告と方針を表明することは賛成。 ・問題は、方針をできるだけ委員長の独断とならず、委員の提案や合議で民主的に進めていくことが必要と考える。	・テーマや取組姿勢、方針を公表することで、活動を周知することは重要と考える。
活動計画作成	年間活動計画を作成しての調査活動を実施することについて	・活動計画を作成することは当然であり、課題は取組後の予算や政策反映状況の調査まで含めていくべきと考える。	・活動計画を基に活動をしないことには活動が曖昧なものになりかねない。 ・また、視察なども費用を掛けていくわけですから、無駄な活動にならないようしっかりと実施することは重要であると考えます。
その他、試行実施項目に関する意見等		・議長及び副議長には正式に申入れを行った議会提案の条例発議に向けた枠組みが早急に必要と考える。 ・千葉市議会はここ20年で1本と政令市ワーストの議員提案条例の成立状況であり、市民の負託に十分に当たっていると言えない。 ・したがって、会派における発議も保障しつつ、超党派で条例を討議・検討しながら発議していくための議会政策提案検討委員会を設置する、議会の機能強化を提案する。	-